

# 《美術》 生き物と人工物とを組み合わせた絵を描こう

## 田辺市立 中芳養中学校 第3学年

### 1 指導計画

- 命ある動植物と人工物という対照的なものを一つの絵の中に融合させる。
- 選んだ生き物と人工物の特色を際立たせたデザインをする。

- ①描く絵の主旨を伝える。
- ②図書室から図鑑などを選び、美術室へ持ってくる。
- ③図書から選んだ物の特色を調べ、ワークシートに記入する。
- ④それぞれの特色がよく表われていると思われる写真などがあれば、スケッチするか、コピーしてワークシートに貼りつける。
- ⑤全体の大まかな構図を決めてワークシートに描いていく。
- ⑥画用紙に描いていく。

### ワークシート

1. 描く生き物と人工物を決めよう。

生き物	人工物
	
特色：	特色：

2. 全体の構図



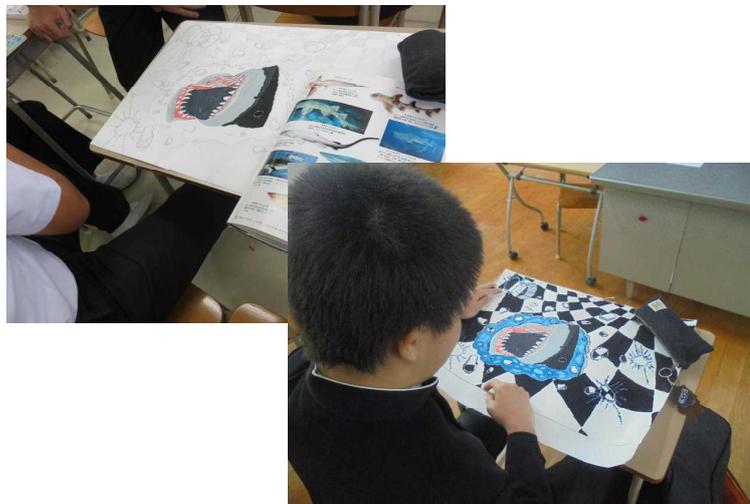
### 2. 活用した本のリスト

- 「ニューワイド学研の図鑑増補改訂版全24巻」
- 「花のつくりとしくみ観察図鑑全8巻」
- 「絵本図鑑シリーズ 木の図鑑 森のきのこ」
- 「お花がさいた やさいができた全10巻」
- 「ざんねんな生き物」 「もうすぐ絶滅します」 など

### 3. 児童生徒の様子

多くの生徒が、まず、自分の好きな生き物から入り、その特色を外観のみならず、生態も含めて熱心に調べ、それと対照をなしたり、その特色を際立たせたりするための人工物を選んでいった。

例えば、サメを選んだ生徒は、「ホオジロザメの破壊力を描きたかったので人工物は硬いコンクリートを選んだ。」と理由を語ってくれた。



## ○成果と課題

生き物や人工物の特色を際立たせるというところから、図書を使ってじっくり調べることができていた。また、絵の全体的な構図を決めていくうえで、収集した情報を生かしていく努力が見られ、自分なりの理由づけもできていた。

課題としては、収蔵図書に偏りがないようにし、他教科や総合的な学習の時間のニーズに応えられるようにしたい。図書担当教員は国語科教員が担うことが多く、図書館を利用する授業も国語に偏りがちであるが、様々な教科や活動で利用できるよう、全ての教員に購入希望図書の選定をしてもらう必要がある。